

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名)	授業の種類	授業担当者	当該科目に関する実務経験
子ども家庭支援の心理学	(講義)・演習・実習)	中山 知子	幼稚園教諭 幼稚園園長
授業の回数	時間数 (単位数)	配当学年・時期	必修・選択
15回	30時間 (2単位)	2年・後期	必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期に保育・教育を担う保育者となるために、その専門性を深め、確かな裏付けをもって責任ある保育を実践するために必要な知識を学ぶ。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達と初期経験の重要性、家族・家庭の定義と機能、現代社会における子育て家庭の現状と課題の理解とその援助に必要な知識を習得する。 <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 ・家族・家庭の定義や機能を理解し、家族関係や親子関係をどのように支援していくのかを考えることができる。 ・子育て家庭の現状と課題について理解し、保育者としての態度やかかわり方を理解する。 ・子どもの精神保健と専門機関との連携について知識を得て保育者としての対応を考えることができる。 			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児の発達 生まれてから2歳の初期発達の特徴と、必要な保育者のかかわりについて理解する。 2. 幼児期の発達 生涯発達における幼児期の発達の特徴を理解する。 3. 学童期の発達 学童期の発達の特徴と幼児期からつながる発達のプロセスと課題を学ぶ。 4. 青年期の発達 青年期の身体的発達、認知発達、対人関係の変化、問題行動について学ぶ。 5. 成人期・中年期・高齢期の発達 生涯にわたる発達のうち後期となる時期の特性を理解する。 6. 家族・家庭の意義と機能 家族や家庭の概念、意義と機能について学ぶ。 7. 家族関係・親子関係の理解 家族に関する基本的な理解、家族ライフサイクル論、家族システム論を学ぶ。 8. 子育てで経験と親としての育ち 親が子育てで経験し育つこと、家庭と連携した保育の展開について学ぶ。 9. 子育てを取り巻く社会的状況 少子化や核家族化、多様な家族等、日本の子育てをめぐる状況を理解する。 10. ライフコースと仕事・子育て ライフコースの概念と歴史の変遷について学び、親理解や親支援につなげる。 11. 多様な家庭とその理解 近年多様化する家庭や家族の関係について学び、具体的な支援について考える。 12. 特別な配慮を要する家庭 子どもと家庭を支援するために、その背景となる特別な状況を理解する。 13. 子どもの生活・生育環境とその影響 現代社会には特殊な環境で育つ子どもがいることを知り、課題を学ぶ。 14. 子どもの心の健康にかかわる問題 子どもの問題行動やサインについて、連携する専門機関について学ぶ。 15. 期末試験 			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新基本保育シリーズ9 「子ども家庭支援の心理学」(中央法規出版) ・保育所保育指針(厚生労働省/フレーベル館) 			
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考查点(75%) <ul style="list-style-type: none"> ・到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・平常点(25%) <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 			